国語問題

一　次の文章を読んで後の問に答えよ。

大体、人間の性格なんてものは六歳くらいまでに決まってしまうものだそうで、となると、主な影響は、両親から受けるのだろう。ぼくの場合、養家先では、祖母に当たる人が年中そばにいたから、お婆アさん児というほどでもないけれど、思いかえしてみると、小さい頃から、妙にa取り越し苦労してみたり、b愚チっぽかったり、ばあさんめいた性格が、他の子供に較べ、強かったように思えるのだ。

ぼくの長女は九歳、次女は十カ月だけれど、次女を見ていると、ああ長女も昔はこうだったんだなと、かなり克明に以前のことがよみがえる。生後六カ月までは、あらゆる乳児の、顔つきこそちがっていても、そのふるまいはほぼ同じようなものだし、次女の年でようやく個性が出はじめてくるといっても、まだ立ちもしゃべれもしない。ただ姿形がよく似ているだけのことで、赤の他人の子供であっても、ぼくのそばに年中いるのなら、同じ気持ちをいだくだろう。

つまり、次女を見ていると、人間のスタートラインの如くだし、長女の性格、癖にふれると、もはやこの面では動かしがたく出来上がってしまった完成品を感じる。そして、A子供を育てるということは、親あるいは大人の、垢にまみれさせることに他ならないと、しみじみ実感がある。

子供の癖や性格について、いちいち親が罪深く感じる必要はない。親には親の生活があるわけだし、その親の身についてしまったもろもろは、さらに先代から受けついでいるのであって、責任のとりようもない。考えはじめればきりがない。

しかし、整理整頓の面で考えると、長女はまったくぼくのわるい癖を、そのまま引きついでしまったようだ。まずぼく自身について考えると、子どもの頃、自分が養子であるという意識はあまりなかったが、やはりいくらかは、他の家と異なる雰囲気を、わが家に感じていた、どんなに悪いことをしても、両親はぼくをきつく叱らない。とうの昔に、死んでしまった人の胸中をc忖度することはできないが、多分、養母は理想的な母親を、一生懸命に演じ、その演技プランの中には、ぶったり怒鳴ったりするより、やさしく教え諭した方が効果的、うっかり感情に（　B　）、ひっぱたいたりすれば、なにぶん血がつながっていないことだし、子供の性格をd歪めてしまうというe怯えがあったのではないか。

子供は、しごく敏感ものである。なにしろ両親に見捨てられたら生きてはいけないのだ。すくなくとも当人は、その点で年中周囲をうかがっている。だから、両親の気持ちを、まことにfテキ確に見抜き、ぼくがいまここで、したり気なg分セキをするより、さらにはっきりと、養母の気持ちを、幼い頃のぼくはつかんでいたと思う。

だから、養母が理想的な母親に徹すれば徹するだけ、ぼくもそれに応えて、理想的子供の演技を行った。この記憶は現在も残っている。養母が、hあらまほしき母親ぶりに疲れて、あるいはその殻を脱ぎ捨てたとき、どうであったのか、よく判らない。年中、祖母と喧嘩をしていたから、あるいはここで発散していたのかもしれぬ。

さっき、お婆アさん児風一面が強いと書いたけれど、べつに年中その膝の上にいたわけではない。ただC養母としゃべるときは、なんとなくかしこまっていなければならないのに、祖母となら、かなりのんびりできて、また、その言動に影響を受けることも強かった。

とにかく、養母の前では、優等生ぶって、これも実は見抜かれていたと思う。本能的にその望むところは判っても、まだ演技力は未熟なのだから。しかし、ぼくも疲れてしまう。どこかで生地のままをさらけだしたい、い

や、生地などはまだ形も色合いもさだかではなかったろう、どこかで優等生ぶりと、逆のことをしてみたかったのだ。小学校高学年になると、教師、親戚の大人、隣組の連中に対しても、いちいち優等生を演技し、その分だけ、逆の部分は汚らしく、猥雑になっていったと思う。

たとえば、当時のぼくには盗癖があった。これも、いろいろ理屈はつけられる、養父母は、ぼくが何か欲しいとねだるより前に、何でも買ってくれた。カメラ、空気銃、モデルシップなど、まわりの子供にくらべると、贅沢な道具をそろえていた。優等生ぶらなければならないし、欲しいものはすべて与えられるから、ぼくは子供の頃、一度も養父母に何かをねだったことがない。与えられてばかりでは、やはり物足りなくて、他人の所有するつまらないもの、やや劣等生の臭いをまつわらせた品、つまり竹刀のツバとか、肥後守などを、くすねたのかも知れない。お年玉をもらい、ためた貯金箱の中から、五銭十銭とごまかして持ち出したのは、アイスキャンデーなどおごって友達の（　D　）を買いたいためだった。しかし、それよりも、優等生ぶりの（　E　）が、盗みにおもむかせたような気がするのだ。また、小学校一年にして、すでにマスターベーションを心得ていたのも、同じような理由からではないか。この二つの悪事には共通した楽しみがあったように思える。

いずれも、完全に養母の（　F　）を裏切ることだし、あえていえば、G復讐の如き感じさえあった、この二つの悪事がばれたとき、養母はどんな顔をするか、そして、ぼくはいかなる言い訳をなせばいいのかと、便所にしゃがみながら考えたことを覚えている。児童心理学風にいえば、理想的母を演ずる養母の、その殻を破りたい、思いっきりひっぱたかれたい気持ちが、あったとも考えられる。（野坂昭如「親はあっても子は育つ」）

問一　傍線部a・hの意味として正しいものを選び、番号で答えよ。（解答番号は【1】～【2】）

a　取り越し苦労【1】　1　杞憂　2　守株　3　蛇足　4　白眉

h　あらまほしき【2】　1　現代的な　2　理想的な　3　典型的な　4　古風な

問二　傍線部b・f・gと同じ漢字を含むものを選択肢から選び、番号で答えよ。（解答番号は【3】～【5】）

b　愚チ【3】　1　方向オンチ　2　厚顔ムチ　3　適切にショチする　4　大学のユウチ

f　テキ確【4】　1　法律のテキヨウ　2　一年分にヒッテキする雨量　3　弱点をシテキされる　4　相手のヒョウテキになる

g　分セキ【5】　1　本学にザイセキする生徒　2　人工トウセキの患者　3　すぐれたコウセキをたたえる　4　心中にウッセキした不満

問三　傍線部c・d・eの漢字の読みについて正しいものを選び、番号で答えよ。（解答番号は【6】～【8】）

c　忖度【6】　1　フド　2　スンド　3　ソンタク　4　フタク

d　歪め【7】　1　ひずめ　2　ゆがめ　3　ため　4　せばめ

e　怯え【8】　1　めばえ　2　もだえ　3　おびえ　4　あまえ

問四　傍線部Aについて、筆者は子育てということについてどのように考えているか、選んで番号で答えよ。（解答番号は【9】）

1　親の欠点の影響を受けて人格が形成されることに対して、申し訳ないような気持ち。

2　親の長所、短所を同時に受け継ぎながら、新たな個性が生まれることに対する喜び。

3　純粋無垢なものとして生まれたので、出来るだけ無垢な心を持ったまま育ってほしいという願望。

4　性格がほぼ決まる六歳ぐらいまでの間に、出来るだけ理想的な教育を施すべきだという考え。

問五　空白部B・D・E・Fに入れるべき適切なものをそれぞれ一つ選び、番号で答えよ。
（解答番号は【10】～【13】）

B【10】　1　けどられて　2　さらわれて　3　からまれて　4　からられて
D【11】　1　歓心　2　関心　3　感心　4　寒心
E【12】　1　反動　2　反復　3　反映　4　反省
F【13】　1　予想　2　期待　3　直感　4　想像

問六　傍線部Cについて、なぜ筆者は養母との時はかしこまっていなければならなかったのか、問題文から判断して適当なものを選び、番号で答えよ。（解答番号は【14】）

1　実母とは違って養母であるので、心から甘えることは出来ず、常に緊張して接する必要があったから。
2　養母は母親として完璧であり、その影響を受けて育った自分も、常に礼儀正しく振る舞っていたから。
3　養母が演じる理想的な母親像に合わせ、自分も優等生的な息子を演じる必要があったから。
4　大好きな祖母を悲しませないように、少なくとも養母の前では優等生を演じなければならなかったから。

問七　傍線部Gについて、養母が筆者から復讐されなければならなかったのはなぜか、適当なものを選んで、番号で答えよ。（解答番号は【15】）

1　筆者にとって実現不可能なことを養母から要求され続け、自分の性格がゆがんだものになったから。
2　他人のものをとったりして常に養母に反抗し、養母もまた自分につらく当たっていたから。
3　養母が祖母につらく当たるので、大好きな祖母に味方して、養母に反抗するため。
4　養母は暗黙の内に筆者に優等生の振る舞いを要求していたので、不自由を感じていたため。

問八　筆者、野坂昭如の作品を選び、番号で答えよ。（解答番号は【16】）

1　裸の王様　2　ひょっこりひょうたん島　3　思い出トランプ　4　火垂(ほた)るの墓

二　次の空欄①～⑨にはふさわしい漢字を、a～iには該当する意味を選び、それぞれ番号で答えよ。
（解答番号は【17】～【32】）

A　(①)刀直入　漢字【17】　意味(a)【18】
B　自(②)自縛　漢字【19】　意味(b)【20】
C　支(③)滅裂　漢字【21】　意味(c)【22】
D　(④)若無人　漢字【23】　意味(d)【24】
E　一知(⑤)解　漢字【25】　意味(e)【26】
F　責任転(⑥)　漢字【27】　意味(f)【28】
G　無我(⑦)中　漢字【29】　意味(g)【30】
H　諸行無(⑧)　漢字【31】　意味(h)【32】
I　独断(⑨)行　漢字【33】　意味(i)【34】

【漢字】　1　専　2　半　3　傍　4　夢　5　単　6　常　7　嫁　8　縄　9　離

【意味】
1　物事に熱中すること
2　直接に要点を突くこと
3　責任を他のせいにすること
4　自分の勝手な判断で物事を進めること
5　十分に理解できていないこと
6　万物は常に変化してとどまることがないこと
7　自分勝手に振る舞うこと
8　統一がなくばらばらでまとまりがないこと
9　自分の言行のせいで身動きできなくなること

三　次はある詩人の「せいたかあわだちそう」という詩である。読んで後の問に答えよ。

秋のきりんそうはいつだってゆらゆらしていた
夏であったころ
鉄橋を北上して青いきりんそうをみた
ごろごろごろごろ
わたってゆく音のあいだに
きりんそうはかたまりをつくり
目の前をすぎる
鉄の柱の列はごろごろ
ごろごろ
ころがってゆく
河原の石のａタイ積は深い
そのあいだあいだにきりんそう
（じっさい、その中にわたし自身）
きりんそうは青かった
ぶたくさとの違いがわからなかったが
たぶん
これだと叢（くさむら）を指したのである

あきのきりんそうは群れていて
いまや
まっきっき
Ａほんとうにこれはせいたかあわだちそう
あたしもあたしの両手をのばし
つるされた茎のように
ゆらゆらと
およぐ
そこに
あたしのにおいが残る
そうあるべきではないのに
性を所有してあるく人間たちと同じようにあたしはにおう
Ｂすでに劣等の種と見なされて
この中に長くすみ
わたしたちは人間のｂシャク度をもってしまった

（↘下段先頭へ）

（↗上段左端より）
多数からみはなされ
さらにみはなされ
うすぐらく
みだらに
じぶんを感じなければならないのだから
Ｃ両性具有のきょうだいたちよ
お互いにつれそい
このほしをはなれよう
セイタカアワダチソウ
きっと向こうにも同じような草が生えているだろう
せいたか、あわたち、そう
わたしはしゃがんでこどもにおしえる
背い高、
「アワダチソウ」
こどもの背に父親の血はながれない
優性ｃイ伝の貧血症を抱（だ）いて
おさないままにしんでしまえ
あたしの
背には暖かいものを当てる　な
Ｄ世代をつなげて
衰えてゆくのだ

問一　作者は東京都生まれであるが、一九八四年、熊本に在住。二〇〇八年、「熊本文学隊」を旗揚げし、エッセイ「良いおっぱい悪いおっぱい」で「育児エッセイ」という分野を開拓した。作者を選び、番号で答えよ。（解答番号は【35】）

1　石牟礼道子　2　伊藤比呂美　3　中村汀女　4　正木ゆう子

問二　傍線部a・b・cと同じ漢字を含むものを選択肢より選び、番号で答えよ。（解答番号は【36】～【38】）

a　タイ積【36】　1　会費をタイノウする　2　落ち葉でタイヒを作る　3　新事業の推進ボタイ　4　権利にフタイする義務

b　シャク度【37】　1　情状をシャクリョウする　2　マシャクに合わない商売　3　お知恵をハイシャクしたい　4　説明を聞いてもシャクゼンとしない

c　イ伝【38】　1　タンイ面積当たりの収穫　2　交渉をイニンする　3　イカンの意を表する　4　判定にイゾンはない

問三　傍線部Aで、作者は「せいたかあわだちそう」と同化しようとしているが、どのようなイメージとして、「せいたかあわだちそう」をとらえているか。適当なものを選び、番号で答えよ。（解答番号は【39】）

1　何にも縛られないで、ゆったりと自分の命を楽しんでいるイメージ。
2　不安定で落ち着かない、心が動揺しているイメージ。
3　あてもなくさまよい、希望を持てずに将来を心配するイメージ。
4　冬になると枯れてしまうが、春になって新たな命の再生を喜ぶイメージ。

問四　傍線部Bはどういう意味か。適当なものを選び、番号で答えよ。（解答番号は【40】）

1　科学の定説として、人類は広大な宇宙において、劣等種と見なされているということ。
2　人間が人類を優等種だと考えていることに対する強烈な皮肉。
3　女は男より劣等な種であると、思わされているということ。
4　他人に迎合せず、自分の価値観にしたがって行動する自分は、他から劣等の刻印を刻まれていること。

問五　傍線部Cは、どういう人間を指しているのか。適当なものを選び、番号で答えよ。（解答番号は【41】）

1　生物学的性別(sex)と自己意識(jender)が一致せず、性の適合を望んでいるような人。
2　社会によって課せられた性の役割を拒否し、もっと自然に生きようとする人。
3　男女両方の性の特徴を持ち、いじめられたり、迫害されたりしている人。
4　雌雄異体の動植物と雌雄同体の動植物が併存しているように、少なからず存在する雌雄同体の人間。

問六　傍線部Dで、作者は人類の衰退を述べているが、詩人は人類のどのような点に嫌悪感を抱いているのか、適当なものを選び、番号で答えよ。（解答番号は【42】）

1　社会のグローバル化により、人間が持っている暖かさを失いつつある点。
2　従来の日本社会がもっていた「男らしさ」「女らしさ」が強調されなくなった点。
3　親の威厳が軽視され、家庭の教育力が低下して、人と人とのつながりが希薄になった点。
4　社会的な基準により、人間が本来持っている自然な姿をゆがめている点。

四　次のA～Iの対義語として、（　）の中に入る漢字を選び番号で答えよ。（解答番号は【43】～【51】）

A　記憶↑→忘（　）　　B　希薄↑→濃（　）

C　高遠↑→（　）近

D　精密↑→（　）雑　　E　楽勝↑→（　）勝

F　帰納↑→（　）繹

G　衰退↑→（　）栄　　H　末梢↑→中（　）

I　雄飛↑→雌（　）

【漢字】

1	卑	2	演	3	辛	4	伏	5	厚
6	却	7	繁	8	枢	9	粗		

五　次は二十四節気を順に並べたものである。空白部に適切なものを選び、記号で答えよ。

（解答番号は【52】～【60】）

立春　→　雨水　→　（　A　）三月六日ごろ　→　（　B　）三月二十一日ごろ　→　（　C　）四月五日ごろ　→　穀雨　→　立夏　→　（　D　）五月二十一日ごろ　→　芒種　→　（　E　）六月二十一日ごろ　→　小暑　→　大暑　→　立秋　→　（　F　）八月二十三日ごろ　→　白露　→　（　G　）九月二十三日ごろ　→　寒露　→　霜降　→　（　H　）十一月七日ごろ　→　小雪　→　大雪　→　（　I　）十二月二十三日ごろ　→　小寒　→　大寒

【語句】

1	秋分	2	春分	3	冬至	4	夏至	5	処暑
6	清明	7	立冬	8	啓蟄	9	小満		